

平成 30 年度 特別養護老人ホーム うさみの園 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 30 年度事業計画に基づき、事故防止と身体拘束解除、高齢者虐待について委員会や内部研修で学習する場を設け、職員の意識改革と資質向上を図った。レクリエーションについては、個人の尊厳や利用者満足度向上のために少人数でゆっくり楽しめる雰囲気を作り、各ユニットでの行事を中心に実施したが、ユニットや担当する職員により差があったため、今後、更にレベルアップに努めていく。

また、各委員会においては、前年度より取り組んできたマニュアル改変に取り組んだほか、より良い介護サービスを提供できるよう完成させたマニュアルを業務に反映させるよう全職員に順守の徹底を促した。

運営面では、重要介護度者の積極的な受入れを目指したが、平均介護度は 3.7 と前年度と変化はなかった。平成 30 年度の稼働率については、総在所者数 31,834 名、年間平均利用率は 96.9% と平成 29 年度と比較し 1.5% の増加となった。

2. 事業計画実施状況

(1) 施設サービスの質の向上

① 質の高い専門性のあるケアの実施

- ・ ユニットごとに目標カードを作成し、ユニット職員全員が同じ目標を持ちユニットの生活環境向上に繋がるよう努めた。
- ・ オムツに依存しない排泄ケアの取り組みとして、排泄委員会を中心に多職種協働して個別の排泄計画を立て、トイレで排泄する機会を作り自立支援に向けて務めた。
- ・ 統一したケアの実行に向け、アセスメントシートを活用し定期的に課題アセスメントとケア方針を決定する、ユニットカンファレンスをこまめに開催し、個別ケアを実践した。

② 身体拘束への取り組み

- ・ 職員一人ひとりの意識と共にご家族の理解と協力の下、身体拘束廃止委員会を中心に、行動記録を綿密にとり身体拘束ゼロに向けて検討した。

- ・ 高齢者の虐待防止について、身体拘束廃止委員会、内部研修により虐待に対する知識を得ることにより、利用者様の安全や健康への留意に努めた。
- ③ 事故対策への取り組み
- ・ 施設内で発生した全ての事故状況を把握し、リスクマネジメント委員会にて事故要因分析及び解決方法への具体化に向けて取り組むことにより事故防止への意識を高めた。
 - ・ 重要な事故については、介護事故防止委員会にて詳細に検証した。
- ④ レクリエーションの充実
- ・ 各ユニット又は利用者様の ADL 別にレクリエーション計画を立て、ゆったりと楽しめる雰囲気の中、定期的に創作活動や喫茶を実施した。
 - ・ 季節感を感じるイベント食を定期的に実施し、食事提供の充実を図った。
 - ・ 毎年恒例のうさみの園まつりでは、遠方等で普段来園されないご家族も多数、来園してくださり楽しい1日を過ごして頂いた。

(2) 職員の処遇充実と資質の向上

① 研修体制の充実

年間計画に基づく内部研修において、昨年同様全職員が出席できる環境を整えるため、同講義を月2回実施することにより出席率の向上に努めた。内部研修は1月と3月を施設内で感染症が蔓延していたため中止したが、年間通して8回開催、述べ582名 77%の職員が出席し、前年度と比較すると14%向上した。

外部研修については、介護職員数の減少に伴い研修参加が困難な状況だった。

② 職員の安全衛生管理

- ・ 労働安全衛生委員会を中心に、職員の健康・安全・衛生・環境について協議し、改善に向けた取組みを行った。
- ・ 職員全員に腰痛防止のための腰ベルトを貸借し、業務時の着用を徹底した。

③ 職員の精神的ケア(守秘義務)

- ・ 年1回のストレスチェックの実施により、職員に係る業務上の精神的負担を把握し、負担を解消する環境を整えた。

- ・ 職員用の意見箱を設置し、投書された内容を労働安全衛生委員会で精査し、可能な限り職場・業務環境の改善に努め、職員の精神衛生の安定を図った。

(3) 地域社会との連絡強化

① 地域との連携体制の強化

うさみの園まつり・施設防災訓練等を通じて、地域住民や近隣福祉施設との交流を持ち連携を深めることで、施設の存在意義の理解を求めた。

② 福祉体験・実習生の受け入れ

県や市、各学校の福祉実習プログラムに協力し、幅広い福祉実習生の受け入れを行った。

③ 地域に根付いた公益に準じた事業の実施

- ・ 地域住民を対象とした『いきいき支援相談会』を7月に開催し、福祉に関する相談の窓口を設置した。
- ・ 各種募金活動への協力を行った。
- ・ 広報誌「うさみの園だより」を年3回発行し、地域に配布した。

(4) 災害に備えた対策・訓練・地域連携等の強化

① 災害(火災、台風、地震、土砂災害)への対応、取組みの充実

地域消防と連携し総合防災訓練、夜間想定防災訓練の他、定期的にユニット単位での訓練を実施した。

② 事業継続計画(BCP)の策定

災害等の非常事態においても介護サービスを途切れることなく提供するために、不足する経営資源補うための仕組み、意思決定と情報伝達の仕組み、被害の予防・軽減する仕組みを踏まえた事業継続計画(BCP)の策定を開始した。

③ 地域福祉避難所

その役割を理解し、有事の際には全うできるよう地域との連携及び防災備品の準備に努めた。

(5) 委員会活動

ショートステイ・デイサービス等、併設事業所と協働で委員会活動を行い、様々な取り組みを行った。

- ① 管理運営会議(毎週月曜日)

基幹職員が出席し、週間の業務予定及び検討事項の協議を行った。
- ② 職員全体会議(4・10・1月)

全職員対象に施設長の講話、情報伝達・業務の周知を行った。
- ③ 防災管理委員会(随時)
 - ・ 事業継続計画(BCP)の策定を開始した。
 - ・ 災害に備え、災害対策を見直し、防災訓練の計画・実施した。
- ④ 労働安全衛生委員会(第3水曜日)
 - ・ 職員の健康・安全・衛生・職務環境について協議し、改善に向けた取り組みを行った。
- ⑤ 感染症対策委員会(第1水曜日)
 - ・ インフルエンザ予防対策として、職員・面会者のマスク着用・手指消毒を徹底することにより、インフルエンザ予防及び蔓延の防止に努めた。また、食中毒・その他の感染症については、適切な手洗い方法や各所の清掃についての研修を実施し、感染症の発生防止に役立てた。
 - ・ 利用者様個々に褥瘡ケア計画書を作成・実践することにより、予防対策、早期発見・治癒を目指した
- ⑥ リスクマネジメント委員会(第4木曜日)

事故報告書の集計と内容の検討を行い、特に職員の確認不足やケアの不統一等による人的ミスが要員の事故を無くすよう努めた。
- ⑦ 身体拘束廃止委員会(第4木曜日)

身体拘束・高齢者虐待について研修を行い、全職員に対し身体拘束ゼロの意識を念頭に置いた業務の遂行を徹底した。
- ⑧ 排泄委員会(第2水曜日)

多くの利用者様がトイレでの排泄を可能としオムツの依存を少なくするよう、排泄アドバイザーの意見も取り入れて、利用者様個々の排泄計画を立て実践した。
- ⑨ 給食委員会(第2火曜日)

栄養士が中心となって、ユニットで実施している水分のとりまのつけ方の見直し確認を実施し、安全な水分介助を徹底した。
- ⑩ 栄養委員会(第3水曜日)

給食委託業者日清医療食品(株)の職員も出席し、適正な厨房の運営・

衛生管理等について協議した。

⑪ イベント委員会(随時)

利用者様へのサービス向上の為、年間行事の計画と実施に努めた。

⑫ 編集(広報)委員会(随時)

広報誌発行の編集及び校正を行い、広報誌「うさみの園だより」を年 3 回発行した。

⑬ リネン委員会(随時)

利用者様に快適な睡眠を提供できるよう、適切なベッドメイクの徹底を行った。

⑭ 優先入所検討委員会(6・10・3 月)

外部の第三者委員 2 名を含め、年 3 回優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

⑮ 苦情委員会(2 月)

施設に寄せられた苦情及び苦情に準ずる指摘にについて、外部の第三者委員 2 名に報告した。

⑯ 介護事故防止委員会(随時)

重要な事案について事故検証を行い、事故防止に努めた。

(6) 実施事項

① 年間行事

平成 30 年度に行った主な行事は次の通り。

4 月	イチゴ狩り
5 月	たけのこ狩り ・ 露取り
6 月	うさみの園祭り
7 月	七夕まつり
8 月	花火大会
9 月	敬老祝賀会
10 月	ハロウィンビンゴ大会
11 月	運動会
12 月	クリスマス会 ・ そば打ち実演会
1 月	書き初め ・ 正月遊び

2月	節分まつり
3月	ひなまつり

その他:各ユニットにて毎月、お誕生会を実施した

② 健康管理

ア. 嘱託医回診

毎週火・水曜日、隔週金曜日 / おおたか内科クリニック

イ. 歯科往診

随時 / 石川歯科

ウ. 健康診断

年1回(8月) / 静岡県結核予防協会

(7) 連絡会議等への参加

伊東市介護事業者連絡協議会(年6回)

伊東圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わっている職員との情報交換の場として参加し、介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等についての情報収集により、業務改善に役立った。

(8) 非常災害対策について

平成30年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4月27日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (巢雲1・2丁目)
5月25日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (巢雲3・5丁目)
6月29日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (天城1・2丁目)
9月3日(月)	夜間防火管理体制に基づく検証 避難時間13分42秒
11月6日(火)	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
1月17日(木)	土砂災害想定垂直避難訓練

平成 30 年度 外部研修開催状況

職 種	参加 人数	主な研修
施 設 長	4	伊東市介護保険事業者連絡協議会総会
		第 1 回社会福祉法人等の連絡会
		福祉のしごと・セミナー & 施設相談会
		伊東商業高等学校 2 年生進路ガイダンスに伴う講師
事 務 相 談 員 施設ケアマネ	7	魅力ある職場づくりセミナー
		平成 30 年度介護保険サービス提供事業者説明会(集団指導)
		平成 30 年度施設見学会
		2 年生進路ガイダンスに伴う講師
		平成 30 年度 静岡県介護支援専門員更新研修 B1
		働き方改革セミナー
栄 養 士	2	平成 30 年度食育推進研修会
		平成 30 年度施設見学会
居宅介護 支 援事業所	53	認定調査員新任研修
		総合事業について
		平成 30 年度介護支援専門員新研修 B1
		平成 30 年度介護支援専門員スキルアップ研修
		介護保険制度の改正について
		やさしい心房細動
		GSV 研修
		付き合っていこう認知症(バリデーション)
		担当者会議の進め方
		抗認知症薬は何に効くのか
		主任ケアマネの役割について
		平成 30 年度介護保険サービス提供事業者説明会(集団指導)
		介護支援専門員更新 専Ⅱ研修
		訪問リハ連絡会との座談会
		地域包括システムにおける医療介護の連携について
		宇佐美・小室圏域 GSV 研修
		多職種連携研修会
		コミュニティーソーシャルワーク
高齢者の行動異常について		
ケアプラン点検事業について		
ヘルパー	4	訪問介護のグレーゾーン対応

平成 30 年度 内部研修開催状況

研修日	事業	研修名	講師	参加人数
4月24日	うさみの園 全体	身体拘束廃止と高齢者虐待防止	身体拘束 廃止委員会	57
4月27日				20
5月25日		介護危険予知訓練	リスクマネジメ ント委員会	57
5月30日				15
6月25日		感染症対策（Ⅰ） ～食中毒の予防～	栄養士	53
6月29日				22
7月25日		医薬品の安全使用について	うさぎ薬局	48
7月30日				27
9月25日		排泄ケアの重要性	ユニチャーム	49
9月28日				25
10月25日		笑いヨガの実践	笑いヨガ トレーナー	55
10月30日				16
11月22日		感染症対策（Ⅱ） ～感染予防と拡散防止～	看護職員	60
11月27日				16
2月25日		認知症サポーター養成講座	認知症 サポーター	52
2月28日				20
7月19日	ヘルパー	サービス情報共有化	サービス 提供責任者	6
8月16日		調理実習		6
10月18日		訪問内容意見交換		5
11月8日		訪問内容意見交換		5
12月6日		訪問介護のグレーゾーン対応		5
2月7日		口腔ケア		5
3月7日		認知症ケア		5

平成 30 年度 介護実習受入れ状況
 中学校・高等学校福祉実習状況

実習内容	学校名	実習期間	人数	備考
介護実習（特養）	伊東市中高生向け 福祉職場体験	7月30日 8月3日	3	
介護実習（特養・DS） ・清掃	宇佐美中学校1年生	11月8・15日	32	職業体験
介護実習（特養・DS） ・清掃	宇佐美中学校2年生	11月8・15日	4	福祉体験
介護実習（特養・DS）	熱海高等学校1年生	11月12～16日	3	
介護実習（特養・DS）	熱海高等学校2年生	12月7日	3	

その他介護実習状況

実習内容	主催者名	実習期間	人数	備考
介護実習（特養）	伊東商業高等学校	7月9日	1	公立高等学校 初任者研修
静岡県介護支援 専門員実務研修	静岡県	12月24日 1月28・30日	1	
介護人材育成事業	東海道シグマ	2月6・14・20・ 25日	1	